

平成20年度「専修学校・高等学校連携等職業教育推進プラン」成果報告書

事業名	多摩地区専門学校チャレンジプログラム		
法人名	社団法人東京都専修学校各種学校協会		
学校名			
代表者	会長 小林 光 俊	担当者 連絡先	後藤由利
<p>1. 事業の概要</p> <p>「多摩地区専門学校チャレンジプログラム」は、多摩地区専修学校協議会(以下、多摩専協)と多摩地区高等学校進路指導協議会(以下、多摩高進)が2004年7月に協定を結び実施している専門学校と高等学校の全面的な連携教育事業である。専修学校の特性を生かした実習等を含む各種のカリキュラムを提供することで、高校生の職業意識を高め就労観の育成を促すことを目的に実施した。</p> <p>2. 事業の評価に関する項目</p> <p>①目的・重点事項の達成状況</p> <p>本事業は2004年から多摩地区の専修学校・高等学校を中心として実施してきたが、本年は多摩地区以外の近県を含む高等学校から参加があった。これは従来にない大きな特徴といえる。また、参加者総数も過去最多となった。また、アンケート調査からも従来の目的である高校生の職業意識を高め、前向きな就労観の育成に大きな役割を果たすことができたことがうかがえる。</p> <p>②事業により得られた成果</p> <p>本事業の主題は、専修学校の特性を活かした実習等を含む各種のカリキュラムを、環境・設備等が充実した専修学校において、参加高校生に継続的に講座を提供することで、参加高校生の職業意識を高め、前向きな就労観を育成し、自己の適正を見極めるための「啓発的な経験」となりうる機会を提供することである。</p> <p>今回、参加高校生に対してのアンケート調査から当講座が高校生の職業観の育成や将来の進路意識の向上に大きく寄与していることが確認できた。同時に専門学校側も講座を提供するにあたりそれぞれの特性を生かしたカリキュラム編成を工夫するなど、キャリア教育機関としての意識の向上が見られた。</p> <p>このことから、本事業が、地域の高校生に進路先の授業等を継続的に体験させる機会を提供するだけでなく、専修学校の地域社会への貢献という側面をもつ、広域的な高等学校と専修学校との連携教育事業であると言える。</p> <p>③今後の活用</p> <p>今年度の事業は、従来から行ってきた「多摩地区専門学校チャレンジプログラム」を講座運営の基本として実施し、周知方法をさらに工夫することでより広範囲の地域からの参加者があった。今回制作した事業パンフレットを活用して今後も事業理解を求めていきたい。また講座紹介HPを生かして講座カリキュラムを迅速に広く公開することでより多くの受講者参加を目指したい。</p> <p>④次年度以降における課題・展開</p> <p>さらに多くの講座を実施することで多様な職業理解の場を提供し、高校生の職業観育成に寄与していくことを目指す。今回分析に至らなかった高等学校教員向けのアンケート結果を参考に高等学校のキャリア教育の実情を理解し、高等学校側といっそう連携を密にしながらか事業に取り組む。</p>			

3. 事業の実施に関する項目

①職業体験講座、講演会の実施

実施校		講座名	日程
専門学校東京テクニカルカレッジ	1	バイオテクノロジー・環境テクノロジーの技術	6/21, 28, 7/5, 12
	2	11/15, 22, 29, 12/6	11/15, 22, 29, 12/6
	3	「パソコン技術」と「アクションゲーム開発」	11/15, 22, 29, 12/6
日本工学院八王子専門学校	4	IT業界で働くエンジニアの仕事を体験する！	8/2, 3, 9, 23, 24
東京工学院専門学校	5	ゲーム制作基礎講座	6/22, 7/13, 20, 27, 8/3
	6	ゲーム&トイ・クリエイティブセミナー	1/25, 2/22, 3/22, 3/29
東京多摩調理製菓専門学校	7	日本料理	6/18, 19
	8	西洋料理	6/25, 26
	9	中華料理	7/2, 3
二葉栄養専門学校	10	調理師科 (特別コース)	7/12, 19, 8/2, 9
専門学校二葉製菓学校	11	製菓・製パン科 (特別コース)	10/11, 25, 11/2, 12/6
国際文化理容美容専門学校国分寺校	12	理容科	6/18, 25, 7/2, 9, 16, 8/27, 9/3, 10, 17, 24, 10/1, 8
	13	美容科 水曜日コース	6/18, 25, 7/2, 9, 16, 8/27, 9/3, 10, 17, 24, 10/1, 8
	14	美容科 土曜日コース	7/5, 12, 8/2, 9/13, 10/4, 11, 18, 11/1, 8, 15
	15	美容科 水曜日コース	10/22, 29, 11/5, 12, 19, 26, 12/3, 10, 17, 1/14, 21, 29
	16	美容科 土曜日コース	12/6, 13, 1/10, 17, 24, 2/7, 14, 21, 3/7, 14
東京YMCA医療福祉専門学校	17	死生学	11/4, 18, 26
東京エアトラベル・ホテル専門学校	18	ホスピタリティーマナー講座	7/28, 29
日商簿記三鷹福祉専門学校	19	介護福祉士に関連した重度訪問介護従事者研修	10/11, 25, 11/1, 8

②アンケート調査

講座を受講した高校生に対し質問用紙によるアンケート調査を行った(一部聞き取り調査実施)。また講座を提供した専門学校教員, 高等学校の進路指導担当教員に対しても調査を行った。

<調査結果の概要>

講座を受講したことで, アンケートに回答した受講生の6割が, その職業に必要な資格や資質を理解できるようになり, 職業観, 進路決定に影響を与えたと回答した。そして「職業(仕事)に就くこと」についての考え方は, 約半数の受講生が「変化した」と回答している。

次に, 8割の受講生が専門学校で実施された講座の内容(講義・実習・実技)に満足しており, 6割以上の受講生が, その授業内容を理解できたとしている。そして, 受講生の出席状況は全部出席したものが5割以上, ほぼ出席しているを含めると9割に達し, 特に受講生の高い学習意欲はヒアリングおよび専門学校教員への調査でも確認できた。

受講生の属性は, 高校3年生女子の割合が高く, 将来なりたい職業及び, その分野への進学志向を早い段階で持っていることがわかった。講座を受講することで進路志向への影響があったとする回答が半数を超えた。

講座を実施した専門学校教員へのアンケート調査からは, 高校生の職業観育成を促すためのカリキュラム編成への工夫がうかがえた。また, 高い意欲を持って参加する高校生に刺激を受け, 今後のキャリア形成支援に対して積極的に取り組む姿勢も確認できた。